

インターネットの トラブルから 子どもを守ろう!

子どもたちのインターネットの利用率は増加傾向にあり、それに伴い、市に寄せられる相談も、年々増加してきています。そこで今回は、その現状や注意点などを紹介します。



インターネット上の被害の実状

市内では子どもたちの7割以上がインターネットを利用[※]しており、昨年度市の消費者センターには160件以上もの不当請求などの相談が寄せられました。また、北海道警察によると、例年、道内では約100人の子どもが「出会い系サイト」などから発生した犯罪被害に巻き込まれています。被害に遭わないために、子どもにとって有害な情報を含んだサイトの実態を知っておくことが大切です。

※市内26校の小学5年、中学2年、高校2年の合計約2,700人を対象にした調査による

●市の消費者センターに寄せられた相談件数(18歳未満) (件)

内容	21年度	22年度	23年度
アダルト情報サイト	100	142	148
出会い系サイト	15	10	8
オンラインゲーム	8	4	6
合計	123	156	162

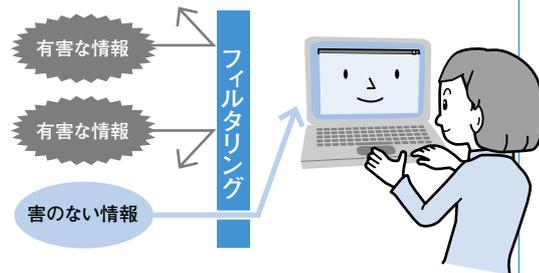
●北海道警察が検挙したインターネットを通じて発生した犯罪[※]の被害者数(18歳未満) (人)

内容	21年度	22年度	23年度
出会い系サイト	22	16	22
会員制交流サイトなど	75	82	79
合計	97	98	101

※少年少女の福祉を害する児童買春・児童ポルノ事件などの犯罪

知ってる? フィルタリングで有害サイトから子どもを守ろう

パソコンや携帯電話には、子どもにとって有害な内容を含むサイトを閲覧できないようにするフィルタリングという機能があります。設定方法などの詳細は、携帯電話会社やインターネット接続事業者などにお問い合わせください。



そのほか、フィルタリングのソフトをインターネット上や家電量販店などで入手することもできます。

書き込みにより交流が生まれる一方、
トラブルの危険性も

掲示板サイト

自由な書き込みが被害を生むことも

誰もが自由に意見などを書き込める掲示板サイト。楽しい話題で交流が生まれる一方、特定の学校の生徒が集まる掲示板などでは、個人の中傷に発展し、いじめにつながる可能性があります。

子どもたちによる書き込みへの対応

(平成23年度)

記載内容	件数
いじめや中傷と思われるもの	45
家出や自傷行為のほめかし	22
飲酒、喫煙の表現があるもの	13
個人情報を含んでいるもの	1,856
合計	1,936

市では、子どもたちが掲示板などへ不適切な書き込みをしていないかを調査するネットパトロールを実施。個人情報やいじめと思われる書き込みを見つけた際には、速やかに学校に連絡し、早期の対応・解決につなげています。

■掲示板サイトの一例

○○高校の生徒集まれ!

【学校祭】2年生の掲示板

- 名前 名無しさん
学校祭の準備楽しかったね
- 名前 名無しさん
最高だった
- 名前 名無しさん
でも、〇川、調子に乗りすぎだろw
- 名前 名無しさん
ウザいよね、あいつ!
- 名前 名無しさん
〇川の家にはいざらしようぜ!
住所 ○区○丁目○番地
電話 ○○○-○○○○
- 名前 名無しさん
楽しそう! 早くやろー

●対応のポイント●

悪口などを見つけた際は 保護者や学校の先生に相談を

悪口や個人情報などの書き込みを見つけたときは、すぐ保護者や先生に相談するよう子どもに伝えてください。インターネット上に掲載された書き込みや個人情報は、不特定多数の人から見られ、一度掲載すると、複製が広がるなどして削除がとても難しいことを理解させることが大切です。

学校でのインターネット
トラブルなどを担当する
教育委員会
指導担当課長
ひのまだ
檜田さん

